

①聴覚障害教育センターだより

令和4年2月

富山県立高岡聴覚総合支援学校



本校は、聴覚障害児教育の専門機関として「聴覚障害教育センター」を併設し、県西部にお住まいの赤ちゃんからお年寄りまで「きこえ」や「ことば」に関する相談に応じています。医療、福祉機関、各種教育機関、補聴器専門店などとの連携を密にし、活動を進めています。

お子さんの様子で、話し掛けても振り向かない、言葉が遅いなど、気になることがありましたら、ご相談ください。



教員向けの研修会もしています

「きこえ」と「ことば」の研修会

- 聴覚障害児（者）の担当者を対象に、聴覚障害についての理解を深めていただくことを目的に実施しています。今年度は、検温、マスクの着用、3密の回避など感染症対策を徹底して実施しました。
- 第1回（6月11日（金））は、授業参観、自立活動や合理的配慮に関する内容の講義が中心でした。参加者からは、「授業参観で各教室を見せていただき、様々な分かりやすい掲示物が多く、自分も取り入れていきたいなと感じました。」「言葉の獲得に意図的な支援がどれだけ大切かがとてもよく分かりました。」「周りの生徒が理解する場面を設定する必要があると感じた。」などの感想が寄せられました。
- 第2回は、8月27日（金）に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止としました。補聴器装用体験や発音発語指導の演習は、令和4年度に向けての課題となりました。

在籍校訪問による支援

- 難聴児在籍の保育所（園）、小学校、中学校、高校に出向き、先生方からの具体的な相談に対応したり、聴覚障害教育に関する内容や合理的配慮などについての校内研修に参加したりしています。



研修用DVDの紹介

「聴覚障害児教育の専門性を身につけるための
指導者用教材DVD」 全9巻

特定非営利活動法人

聴覚障害教育支援大塚クラブ

- 第1巻 聴覚障害児教育の基礎知識
- 第2巻 教育現場での工夫・配慮事項
- 第3巻 実践事例ダイジェスト

など、聴覚障害教育の専門性向上のための指導者用DVD教材です。





書籍の紹介

「聴覚障害教育の手引き」 文部科学省

教師の専門性の向上のため、聴覚障害児教育の基礎的・基本的事項や教育内容などについて、詳しく解説されているテキストです。

※下のURLのウェブページでもご覧いただけます。

https://www.mext.go.jp/content/20200324-mxt_tokubetu02-100002897_003.pdf



小・中・高校での聴覚障害児支援のポイント！

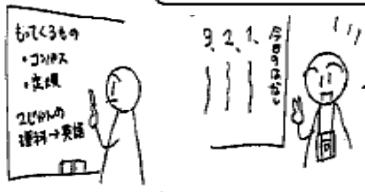


授業での配慮

必要な情報が正しく伝わるような配慮が必要です。

視覚的な手掛かりがあると、分かりやすいよ。

集会のときは、話のポイントの提示があるといいな。



書きながら聞くのは、難しいよ。



ノートを書いているときに話をしてても、気付かないよ。合図があるといいな。

班の話し合いのときは、一人ずつ話をしてほしい。

誰が何を話しているのか分からないよ。

口元を見るのが間に合わないな。



顔（特に口元）がよく見えるようにすると、手掛かりとなり、話が分かりやすいです。しかし、現在は感染症対策のため、周りの人がマスクをしています。文字やイラスト、ジェスチャーなど視覚情報の併用をお願いします。特に、文字情報が残っていると、音声情報を聞き逃したときに有効です。



学級の児童生徒への働き掛け

クラスの子供たちが難聴や補聴器について理解をすることで、誤解やトラブルが生じにくくなります。

【問い合わせ先】 富山県立高岡聴覚総合支援学校

〒 933-0824 高岡市西藤平蔵700番地
教育相談室（聴覚障害教育センター） 担当
TEL 0766-63-6385 FAX 0766-63-5884
E-mail takaokachokaku@ed.pref.toyama.jp